



2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月11日

上場会社名 株式会社 A B E J A 上場取引所 東
コード番号 5574 URL <https://www.abejainc.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 岡田 陽介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 英 一樹 TEL 03-6387-9222
四半期報告書提出予定日 2024年7月11日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の業績 (2023年9月1日～2024年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	2,045	△2.6	191	△49.5	187	△50.0	153	△59.1
2023年8月期第3四半期	2,100	-	378	-	375	-	374	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	17.16	14.73
2023年8月期第3四半期	48.51	-

- (注) 1. 当社は、2024年8月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2023年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2023年8月期第3四半期会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	4,713	3,814	3,814	3,480	80.8
2023年8月期	4,109	3,480	3,480	3,476	84.6

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 3,810百万円 2023年8月期 3,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年8月期	-	0.00	-	-	-
2024年8月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年8月期の業績予想 (2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,067	10.5	380	△5.7	379	△0.2	319	△24.3	35.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期3Q	9,161,500株	2023年8月期	8,598,900株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	—株	2023年8月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期3Q	8,924,481株	2023年8月期3Q	7,711,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「ゆたかな世界を、実装する」を企業理念に掲げております。この企業理念のもと、テクノロジーの産業界への社会実装を支援することにより、産業横断的なイノベーションを創出し、社会に貢献し続けることを目指し、企業のデジタルトランスフォーメーション推進を総合的に支援しております。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化や賃上げの動き等に伴い国内景気には穏やかな回復の動きがみられます。一方で国際情勢の緊迫化、物価上昇、国際的な金融引き締め等の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の事業が属するデジタルトランスフォーメーション市場におきましては、ビジネスプロセスのデジタル化や既存のビジネスモデルを変える新たな試み、大規模言語モデル (Large Language Model : LLM) といった生成AIへの関心・利活用など、デジタルトランスフォーメーションの取組みは広がりをみせ、企業のIT投資への意欲は引き続き強いものとなっております。今後は少子高齢化に伴う労働生産人口の減少、働き方改革を背景に、多くの企業においてデジタルトランスフォーメーションを推進する動きが一層活発化するものと捉えております。

このような環境の中、当社はABEJA Platformを基盤として、企業のデジタルトランスフォーメーション推進を支援することに取組んでまいりました。

2024年2月の採択以降、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構 (NEDO) のプロジェクトとして、日本語LLM及び周辺技術 (RAG、Agent) の研究開発を進めております。足もとでは基盤モデルの精度向上に取り組んでおり、GENIAC (Generative AI Accelerator Challenge) の性能評価も受け、順調に進捗しております。また、本プロジェクトの区切りは本年8月となりますので、終了後、モデル等の公開を進めていく予定です。

第1四半期から取組みを始めた社内の運営体制の見直し等の効果は、第2四半期に過去最高の売上高を達成するなど、徐々に成果が表れているものの、四半期単位では変動が生じており、現状、巡航速度にのせる過程にあります。このような状況のもと、当第3四半期会計期間の売上高は620,729千円 (前年同期比10.4%減) となりました。また、当第3四半期会計期間の売上総利益率は66%を超える良好な水準を維持していますが、人件費増を主たる要因とする販売費及び一般管理費の増加を賄えず、当第3四半期会計期間の営業損失は10,765千円 (前年同期は33,311千円の営業利益) となりました。粗利率は良好な水準を維持できている一方で、リソース拡大 (人件費増) と売上高拡大のバランスが引き続きの課題となります。安定的な成長のため、継続した運用体制等の改善、企業や事業の状況をより見定めた質の高い提案を推進してまいります。

以上より、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,045,401千円 (前年同期比2.6%減)、営業利益191,483千円 (前年同期比49.5%減)、経常利益187,781千円 (前年同期比50.0%減)、四半期純利益153,180千円 (前年同期比59.1%減) となりました。

当社はデジタルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

なお、売上高については、「トランスフォーメーション領域」と「オペレーション領域」に分類しており、2023年8月期及び2024年8月期第3四半期累計期間の実績は次のとおりとなります。

(単位：千円)

領域の名称	2024年8月期 第3四半期累計期間 (実績)		2023年8月期 (実績)	
		構成割合		構成割合
トランスフォーメーション領域	1,536,697	75.1%	2,268,613	81.7%
オペレーション領域	508,703	24.9%	506,855	18.3%
合計	2,045,401	100.0%	2,775,469	100.0%

トランスフォーメーション領域は、企業のデジタルトランスフォーメーションニーズに対応したプロフェッショナルサービスを、ABEJA Platformを導入し提供しております。このため、主な収入は顧客企業のデジタルトランスフォーメーション推進のための各種支援に伴う収入となります。なお、デジタルトランスフォーメーションは段階的に進めていくため、多くはフロー型 (都度契約) の契約となりますが、一方で長期間にわたる計画的なプロセスとなるため、継続顧客の割合は高くなってまいります。

・継続顧客からの売上比率 (注) 91.8% (2023年8月期)

(注) 継続顧客からの売上比率は、既存顧客 (前事業年度に売上が発生した顧客) の当事業年度の売上高/当事業年度の売上高

オペレーション領域は、ABEJA Platform上に構築した様々なシステムを汎用的な仕組み・サービスとして提供しております。このため、主な収入は顧客企業に提供する汎用的な仕組み・サービスに応じたストック型の継続収入

となります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ604,003千円増加し、4,713,494千円となりました。これは主に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構（NEDO）のプロジェクトに係る助成金相当額（注）を未収計上したことにより未収入金が684,369千円増加した一方で、当該プロジェクトに係る費用（注）の支払いを主な要因として、現金及び預金が100,192千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ270,629千円増加し、899,236千円となりました。これは主に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構（NEDO）のプロジェクトに係る費用（注）を要因として未払金が523,978千円増加した一方で、法人税等の納付により未払法人税等が120,654千円減少したこと、消費税の納付により未払消費税等が98,294千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ333,374千円増加し、3,814,258千円となりました。これは主に新株予約権行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ90,262千円増加したこと及び四半期純利益の計上により利益剰余金が153,180千円増加したこと等によるものであります。

（注）国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構（NEDO）のプロジェクトに係る助成対象費用（主にLLM構築に必要な計算リソースに係る費用）は研究開発費として未払計上するとともに、助成金相当額を研究開発費のマイナスとして未収計上しているため、助成対象費用は当期の損益に影響を及ぼさない見通しです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年4月11日に開示いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、業績予想は発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,540,535	3,440,342
売掛金及び契約資産	357,281	313,164
仕掛品	5,751	15,617
貯蔵品	4,775	1,030
未収入金	486	684,856
その他	63,342	102,254
貸倒引当金	△738	△738
流動資産合計	3,971,434	4,556,527
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	640	12,791
減価償却累計額	△106	△2,744
工具、器具及び備品(純額)	533	10,047
有形固定資産合計	533	10,047
無形固定資産		
ソフトウェア	—	6,073
その他	—	3,351
無形固定資産合計	—	9,424
投資その他の資産		
繰延税金資産	130,495	130,495
その他	7,027	7,000
投資その他の資産合計	137,522	137,495
固定資産合計	138,056	156,966
資産合計	4,109,491	4,713,494
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	97
未払金	114,227	638,206
未払法人税等	120,654	—
賞与引当金	124,139	65,310
1年内返済予定の長期借入金	80,000	80,000
その他	189,586	115,621
流動負債合計	628,607	899,236
負債合計	628,607	899,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	732,787	823,050
資本剰余金	2,516,365	2,606,627
利益剰余金	227,232	380,413
株主資本合計	3,476,385	3,810,092
新株予約権	4,498	4,165
純資産合計	3,480,883	3,814,258
負債純資産合計	4,109,491	4,713,494

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	2,100,805	2,045,401
売上原価	813,760	691,850
売上総利益	1,287,045	1,353,550
販売費及び一般管理費	908,206	1,162,067
営業利益	378,838	191,483
営業外収益		
受取利息	9	17
受取手数料	414	839
受託研究収入	19,800	—
その他	1,864	573
営業外収益合計	22,088	1,430
営業外費用		
支払利息	239	240
株式交付費	4,530	1,185
受託研究費用	16,500	—
その他	3,825	3,705
営業外費用合計	25,094	5,131
経常利益	375,832	187,781
税引前四半期純利益	375,832	187,781
法人税等	1,718	34,600
四半期純利益	374,113	153,180

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。